

先んずれば人を制す、後るれば則ち人の制する所と為る

先見経済

清話会 since 1938

戦前の昭和13年から続く日本を愛する企業経営者の羅針盤

なぜ、松下村塾から維新の傑物たちが輩出したのか

～SJC 旅行会 特別講話

松陰神社 名誉宮司・顧問
上田俊成



日台交流、国際経営アドバイザー

藤 重太

TSMC の強さと台湾企業の強さの秘訣
～台湾式「国益」のつくり方～

文章工房、フリーライター

内田 治

上手な文章の書き方・作り方
～文章は明確・正確・的確の“三確”～

清話会 SJC 旅行会視察記
山口県の企業・酒蔵訪問と、名所観光

清話会 代表取締役 佐々木俊弥
清話会 関西支局長 安田紘一郎

2023年
令和5年

8

増田辰弘が訪ねる
清話会会員
企業インタビュー
中目黒ジーティー





松陰神社の大鳥居



松下村塾の講義室（萩市観光協会公式サイトより）

すが、それを必ずやらないと、ただ理屈や理論ばかり学んでも駄目だよという意味です。この論文の中に、早く若者を集め教育をやりましたように、うことと同時に、機械や造船、皮革製品、あるいは製薬、もちろん近代的な意味での薬という考え方をもうしておられます。

そういう松陰先生の元に、まさにこの部屋で色々な議論をしていくのです。色々な人材が活躍していくのですが、代表的に6人ほど挙げております。伊藤博文、山田顕義、渡辺高蔵、岡部利輔、飯田俊徳、正木退蔵。伊藤博文ですが、これはなぜ真っ先に上げてるかと言いますと、内閣総理大臣を最初にやつたという意味ではないのです。

これは明治18年ですから後のことをになります。明治新政府で工部省というものが明治3年に設立されました。そこで日本法律学校を作りその校長をやるのです。そして日本法律学校を作りその校長をやるのです。そして、明治18年の伊藤の最初の組閣のときの初代司法大臣、これが山田です。ついでに申し上

を西郷隆盛が激賞したという事実があつたのです。ところが幕末から明治にかけて、明治10年の西南戦争まで、国内で駄目だ、日本は法治国家にしないと駄目だということと、内閣総理大臣を最初にやつたという意味ではないのです。

井上馨、外交の父と呼ばれます。井上馨、外交の父と呼ばれますが、この人は2代目の工部卿です。先述の山田顕義が3代目の工部卿です。

遠藤謹助、この人は造幣の父で、長州ファイブという存在もありましたよということが言いたいがために挙げさせていただいているります。

井上馨、外交の父と呼ばれますが、この人は2代目の工部卿です。先述の山田顕義が3代目の工部卿です。

その5人が、井上馨、遠藤謹

助、山尾庸三、伊藤博文、井上

勝です。が、松下村塾の塾生だ

ったのは、伊藤だけです。あと

の4人は塾生ではありません。

が、先の塾生6人を始め松下村

塾生たちと相まって、この人た

の5人は塾生ではありません。

その